

気になる技術

ブロックチェーン技術って？

ビットコインを代表とする仮想通貨が近年流行しています。その仮想通貨の価値を担保しているのがブロックチェーン技術と呼ばれるものです。

ブロックチェーンとは、簡潔に言うとみんなが見れる台帳のことです。「仮想通貨をAさんからBさんに送りました」という情報をいくつかまとめたものがブロックと呼ばれ、それをいくつも鎖のように繋いでいくためブロックチェーンと言われています。ブロックチェーンの情報は世界中にあるパソコンに保管されており、仮にブロックチェーンの情報を保管しているパソコンに不具合が発生してしまったとしても、他のパソコンに記録されているのでブロックチェーンの情報が完全に失われることはありません。

また、ブロックチェーンに記録された情報は誰でも見ることができます。このパソコンは全て対等であり、中央管理者のような存在がないので、ブロックチェーンは分散型台帳とも言われています。

総務省がブロックチェーンの実証実験を始める。日本経済新聞が2017年6月29日朝刊で報じた。共有するデータの範囲や採用するブロックチェーンの種類、構築するシステムの使い勝手、構築や運用のコストなどを検証する。2017年度中に検証を始め、2018年度中をめどにブロックチェーンの具体的な利用計画を作る。ブロックチェーンを使うことで各省庁や自治体などでデータを共有するシステムを安価に構築できると期待する。

ブロックチェーンは、書き込みは容易だが変更は困難な一連のデータを作れる。各省庁や自治体がサーバーをそれぞれ持ってブロックチェーンを使ったシステムを構築すれば、改ざんが困難なデータ共有が安価に実現できるという。

各省庁や自治体でデータを共有するメリットの一つが、複数の省庁から書類を集める必要があった手続きの自動化だ。例えば会社を設立するときに法務局、税務署、市町村役場、社会保険事務所など複数の役所で手続きが必要となる。こうした一連の手続きを自動化するシステムを構築するためにブロックチェーンを利用する。

手続きの簡素化のため、申請の個人認証にはマイナンバーカードを使うことを検討する。

引用:日経コンピューター
<http://tech.nikkeibp.co.jp/it/atcl/news/17/062901812/>

現在、国がブロックチェーン技術を利用することを検討しています。文書管理にブロックチェーンを導入すれば、記録を検証し共有し合うので、2つの文書が同一かどうかの答えは、直ちに得られますので文書の内容を明らかにせずに文書同一の証明することができます。昨今話題の公文書改ざん問題も、ブロックチェーン技術があれば再発を防ぐ仕組みを構築することが可能です。

今回は一部をご紹介しましたが、今後さらにブロックチェーン技術のさまざまな分野への応用が期待されます。

公共事業部 鈴木 慎也

製品・サービス紹介

ホームページの導入もお手伝いいたします

CCSと言えば、「総合行政システム」と思われるがちですが、ホームページの新規、リニューアルなどのお手伝いもしております。

自社開発のCMS(コンテンツマネージメントシステム)で公共ホームページに必要とされている機能とやさしい入力画面と好評を頂いております。

障害者差別解消法の施行や総務省で策定している「みんなの公共サイト運用ガイドライン(2016年版)」などで、公共ホームページにおけるウェブアクセシビリティへの対応が求められております。この対応に関しては、「ページを直す」と言うことだけでは全て対応できず、運営方針の策定や体制の構築など、ノウハウが必要となってきます。

CCSでは町の情報発信元となるホームページの構築や運営などトータルでコーディネートしていくことで、リニューアルを検討される際にはぜひご相談ください。

進め！グルメ道

ミスチルを聞きながら

札幌に来た際にはすすきのへ食事に行かれる方が多いのではないかでしょうか。

私の場合、札幌へ住んでいながら人の多いすすきのへはなかなか足が向きません。

家の近所で落ち着いて食事をしたい年ごろなのかもしません。

今回ご紹介するお店は、ミスチルを聞きながらお酒やお寿司、天ぷらを楽しめるこのお店！

「天ぷら寿司ダイニング 雨のち晴れ」



店内は、ミスチル一色でいつもライブ映像が流れています。ミスチルを聞きながらビールを片手にたち天、油淋鶏がおススメです。

札幌へ来た際は、すすきのもいいですが、地下鉄や電車に乗ってちょっと足をのばしてみてはいかがでしょうか？

TAWN事業部 千葉 洋也

天ぷら寿司ダイニング 雨のち晴れ
住所:北海道札幌市南区澄川4条1丁目10-10
FARROCK澄川1F
電話:011-842-9353



公共事業部 福山 知昭